

もくじ

- ・ マルーシュカと12の<sup>つき</sup>月

マルーシュカと

12の<sup>つき</sup>月

げんさく 原作： せかい むかしばなし 世界の昔話

イラスト： さくらい みゆき

へんしゅう 編集： YellowBirdProject

3

むかし、ある村に、マルーシュカという若い娘が  
いました。

マルーシュカはママ母と、その連れ子の姉と、  
三人で暮らしていました。マルーシュカは、  
美しくて気立ての良い、とてもよくできた娘で  
した。

ママ母と姉はそんなマルーシュカをねたみ、掃除や  
洗濯、食事の用意、牛の乳搾りにたきぎ拾いまで、  
面倒な仕事は、全部マルーシュカに押し付けていま  
した。

しかしマルーシュカは、文句の一つも言わず、毎日  
一生懸命に、与えられた仕事をこなしていました。



5

ある年の暮れ、王様からのおふれの書かれた紙が、  
国中に配られました。

そこには、こう書かれていました。

『私の娘が、重い病気にかかってしまった。  
娘は今すぐにスマレの花が見たいと言っている。  
この雪の中からスマレの花を見つけてきた者に、  
カゴいっぱいのお金を与える』

そのおふれを知ったまま母と姉は、すぐに  
マルーシュカを呼びつけました。

